

# 観聚和泉だより

親聚学舎 狛江市立狛江第一小学校  
年度末号 令和5年3月24日発行  
<http://www.komae.ed.jp/e/e/01/>

## 新年度へ向けて

統括校長 川崎 貴志

1年間の教育活動が本日終了しました。昨日は、感動的な卒業式が行われ、115名の6年生が本校を巣立っていきました。また、4月には163名の新1年生名が入学する予定です。

さて、現在、次年度の準備を進めているところですが、その一部をお知らせいたします。次年度も、引き続き、御理解・御協力・御支援をよろしくお願いいたします。

### ○令和5年度の教育課程について

次年度は、新型コロナウイルス感染防止の一定の感染症対策を講じながらも、マスク着用を求めないこととなります。これにより、教育活動の制限が大幅に緩和されることとなります。詳細は以下の「新学期以降のマスク着用の考え方の見直しについて」を御覧ください。

また本校は、児童数の増加が数年間にわたり続く状況にあります。次年度には、約50名の児童数の増加となり、900人以上の児童が在籍することとなります。児童数の増加にも対応しながら、学習指導要領の理念に基づいた教育を推進して参ります。特に、ESD (Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育)を通して、SDGs (持続可能な開発目標)の目標に迫る教育を継続していきます。主に「生活科」「総合的な学習の時間」「生活単元学習(いずみ学級)」を通して、主体的に学ぶ児童の育成を一層図っていきます。※なお、先日令和5年度の年間予定表をホームページにてお伝えしてありますが、今後の新型コロナウイルスの感染状況によっては、予定の変更や内容の見直しをすることもあります。その都度、お知らせいたしますので御承知おき下さい。

### ○学級編成について

次年度は、新1・3・4年生は5学級、新2・5・6年生は4学級、いずみ学級は5学級の見込みです。新2年生は、児童数の減により、1学級減となります。これに伴い、学級編成替えは、新2・3・5年生となります。

### 「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について」

狛江市教育委員会より「新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方の見直し等について(令和5年3月20日)」の通知を受け、新学期以降は、児童及び教職員についてマスクの着用を求めないことを基本とし、次の点に留意しながら学校教育活動を進めて参ります。

- 基礎疾患があるなど様々な事情により、感染不安を抱き、マスクの着用を希望したり、健康上の理由によりマスクを着用できなかつたりする児童もいることなどから、マスクの着脱を強いることのないようにいたします。
- 児童の間でマスクの着用の有無による差別・偏見等が起こらないよう適切に指導をいたします。
- 咳やくしゃみの際には、咳エチケットを行うよう指導いたします。
- 児童の検温結果及び健康状態を把握するために引き続き「健康観察表」を活用します。春休み中も継続して行っていただき、4月6日から毎日持参させてください。
- 新型コロナウイルス感染症に限らず、季節性インフルエンザ等も含め、感染症が流行している場合などには、マスクを着用する又は着用を促すことも考えられますが、マスクの着用を強いることのないようにいたします。学校教育活動の中には、感染リスクが比較的高いとされる学習活動があり、一定の感染症対策を講じる必要があります。具体的な対応につきましては、新年度に改めてお知らせいたします。